



月報 シルバー人材センター



あけましておめでとうございます

皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

当センターは、昨年4月から公益社団法人としてスタートできました。皆様のご協力に対し厚くお礼申し上げます。今後、更に地域に理解され信頼され前進できるよう役員、事務局も心を引締め取組んでまいりますので、会員の皆様にはなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《24年度未就業者アンケートを実施》

当センターの23年度の就業率は78.3%です。この1月中旬に24年度未就業の方を対象にアンケートを実施することになりました。いただいた回答は今後の就業のための資料となりますので、送付された方は、記載洩れのないようご回答ください。

《塩瀬・山口地区 清掃ボランティア実施》 ホテルの生息地、有馬川を地域の方々と

12月8日(土)、青愛協、山口支部の主催のホテルの生息地を守る有馬川の清掃にシルバーの会員17人が協賛で参加しました。当日は、快晴の寒い日でしたが、全員長靴を履いて水の中まで丹念にゴミ拾いを行いました。来年のホテルの発生が楽しみです。

《「配分金支払証明書」電話でお申込みを》

配分金は税法上雑所得となり、65万円未満で、他に収入が無ければ課税されませんが、給与や年金収入などがある場合は申告が必要となる場合があります。「配分金支払証明書」が必要な方は、お早めに。

申込：事務局「正木」まで

《安全委員会からのお知らせ》

■交通安全講習会の報告

12月4日(火)、大学交流センターで「歩行システムによる実践型交通安全教室」が、県警本部・西宮署・甲子園署の協力の下に実施されました。道路横断時の基本動作「止まる、見る、待つ」を、実践形式で学びました。

■季節性感染症に注意しましょう

冬本番のこの時節、インフルエンザ等の感染がピークを迎えます。今年は特にノロウイルス(感染性胃腸炎)の感染が全国的に広がっています。手洗いや食べ物は十分加熱処理する等の予防対策を徹底しましょう。

センター無事故継続日数		
今日で	就業中	57日
	就業途上他	117日

平成24年12月31日現在

《講演会のご案内》

■高齢社会での共生シリーズ講座

①「認知症って？」

●日時：2月7日(木) 午前10時～12時

●場所：センター 2階多目的室

②「介護保険って？」

●日時：2月15日(金) 午前10時～12時

●場所：センター 2階多目的室

※①②対象は、西宮市在住・在勤の60歳以上の方35名(応募者多数の場合は抽選)

《クリエートにしのみやでの催し》

ららぽーと甲子園の「クリエートにしのみや」で、手づくりチームの作品の展示販売、また、絵画、書道、写真同好会の作品を月替わりで展示しています。

■10時から18時(水曜日定休)



地区リーダー 新年の抱負

日頃、ご尽力されている各地区のリーダーに今年の抱負を語っていただきました。

夙川地区 北原 孝

新入会員との懇談会、広報紙配布者会議、ミーティングやボランティア活動などを通じて若手の人材発掘を進める。地区の役員を担っていただくことで新しい発想による地区運営を進め、豊かな人間関係のコミュニティ形成を図りたい。

中央地区 関根 敏樹

喜寿を健康で活動できたことに感謝し、新たに迎えた2013年。①班懇親会の継続 ②地域の状況把握と情報発信のスピード化 ③世話係は地域の情報を共有し、垣根をはずし、諸事に対応できるチームに…など、一步一步、前進したい。

浜脇地区 平野 茂

巳年、蛇は脱皮「復活と再生」の年です。就業先での自分の立ち位置、シルバーの中での浜脇地区の立ち位置を確保します。全員参加の就業開拓。各種行事及び知識・能力向上のため各種講習会への全員参加。浜脇地区も再出発します。

津門・今津地区 田中 武

当地区では、役員の方々の努力もあり、やっと活動が軌道に乗ってまいりました。新年度は公益社団法人の2年目に当たりますので、公益性に重点を置き、清掃などのボランティア活動を拡げて力を注いでまいりたいと考えております。

鳴尾地区 瀧内 邦男

昨年、生涯発達心理学の講義を受け、人生の意味、創造、体験、態度価値の3つの価値を理論的に理解できた。本年は、この道「成果業績、人を喜ばす、芸術、苦悩と向き合う」を貫きつつ懸案事項を効率的に、心新たに進みたいと思います。

鳴尾南地区 新居 俊一

本年は、例年以上に明るく楽しめる年にしたく、地区会員の皆さんとの語らいの場を多く持つ機会を作り、「愉快・愉悦」を念頭に、地域作りに努力してまいりたいと思っております。

瓦木地区 (代行)山口 博造

会員の皆様には、センター活動にお元気で参加されていることをお喜び申し上げます。会員の交流会、清掃ボランティア、バス旅行など、予定しています。各部会に参加して有意義に過ごされ、事故のないように活動してください。

甲東地区 吉田 通弘

新年を迎え、センターも地域の組織の一つ。多様化が求められていますが、シルバー世代の動ける人が、手助けを必要としている人の力になる。地域に根ざすセンターがその一端を担っていけるような地区活動でありたいと念じます。

塩瀬・山口地区 前野 晃

今の世の中人間関係が希薄と言われていています。「孤独」、これは人にとってつらいことです。「気楽な仲間が集って馬鹿話しをする」こんな集まりの場もシルバーには求められているのでは。爺ちゃん婆ちゃん、群れようではありませんか。